

昭和40年の厚生白書（有床診療所関連部分）

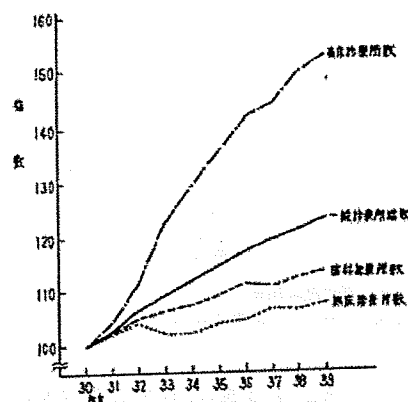
第3節 医療施設 3 一般診療所

39年末の一般診療所数は、6万3,296か所で前年末より933か所増加し、1施設当たりの人口は1,535人、人口10万人当たりの施設数は65.1となつた。

30年末から10年間の推移をみると(第4-9図参照)、無床診療所より有床診療所が、有床診療所でも病床数の少ないものより多いものが、増加率でかなり高くなつている。

第4-9図 診療所数の推移

第4-9図 診療所数の推移 (30年末=100)



資料：厚生省統計調査部「医療施設調査」

また、病床数についてみると、30年末から10年間で8万2,623床増加し、39年末では19万6,547床(病院一般病床数の47.3%)となつた。この間の病床増加率(72.5%)は、病院一般病床の増加率(91.0%)にかなり近いものである。

開設者別にみると、一般診療所の85.9%が個人開業医である。

厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業
地域密着型医療における有床診療所の役割に関する研究
平成 21 年度 総括研究報告書

発行者 森山 幹夫

204-8575 東京都清瀬市梅園 1-2-1 国立看護大学校
042-495-2434 fax 042-495-2690

発行 平成 22 年 3 月

製本 スガハラ印刷